

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	婦人科領域の腫瘍性病変の組織アレイ作製とこれを起点とする臨床病理学的研究析
	研究目的	婦人科領域のがんが発症するメカニズムの解明や、これをもとにした、予防法、診断法、新規治療法を開発する研究を迅速に効率良く実施して、臨床の現場に還元することを目的としています。この研究では、まず、手術で切除された患者さんの病理検体を一度に多数の解析が何時でもできるようにする「組織アレイ」を作ります。この「組織アレイ」を使って、がんの発生の原因や、治療のターゲットとなる様な様々なタンパク質、DNA、RNA の解析を進め、必要に応じて、アレイの元となった病理検体や凍結検体なども解析して、結果を患者さんの診療情報と照らし合わせて、重要なものを探していきます。
	研究対象者	2010 年から 2020 年までの間に、当センター婦人科で子宮頸部、子宮体部、及び卵巣のがんで手術治療を受けた患者さんで、「がん研究（遺伝子解析を含む）への協力をお願い」に書面で同意して頂いた方
	研究期間	西暦 2021 年 8 月 2 日～西暦 2027 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	婦人科/病理診断科/臨床研究所
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	東ソー株式会社、明庭昇平